

企業向け特別号

宮っこだより

企業の皆様へ



白沢小学校の絵画の掲示

【誠和工業 宇都宮工場による学校教育への協力】



本市においては、市民と行政が共有する人づくりの指針となる「宮っこだ未来ビジョン」を平成17年に策定いたしました。

このビジョンでは、家庭や学校、地域、企業などの役割を明記しており、それらが連携協力しながら心豊かでたくましい宮っこだをはぐくむことが大きな特色であります。

今回、人づくり啓発紙「宮っこだより」の企業向け特別号として「企業の皆様へ」を発行いたしますが、この「たより」が企業の皆様の「人づくり」に対するの関心をより一層高め、学校教育に対する参画を推進するとともに、今後の企業戦略の一助となることを期待しております。



宇都宮市教育委員会
委員長 小寺 威夫

市民意識調査 企業意識調査などから

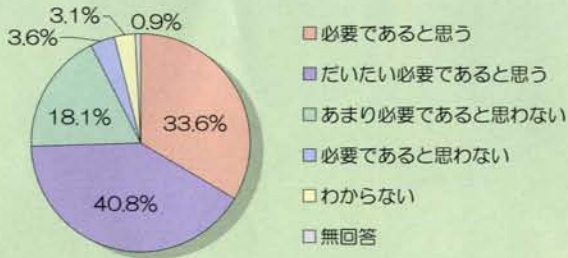
市民意識調査や企業意識調査から、「市民が企業の参画した教育を求めていること」、「制度は整っていても人間関係などから休暇が取りにくい状況にあること」などが明らかになりました。

また、家庭教育に関するアンケートからは、保護者は子どもと十分に時間がとれないと考えていることがわかりました。

市民意識調査から

平成19年6月に市民4,000人に行った調査

子どもの勤労観・職業観を育成するため企業が参画した教育は必要か

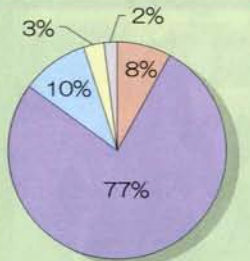


「必要であると思う」「だいたい必要であると思う」が74.4%であり、市民は、企業が参画した教育を求めている。

企業意識調査から

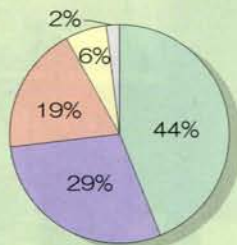
平成16年9月に従業員100名以上の宇都宮市内140社に行った企業調査

企業の休暇制度



- 仕事に関係なく休暇がとれる
- 仕事に特別な支障がない限り休暇がとれる
- 仕事に少しでも支障をきたす場合は休暇がとれない
- その他
- 無回答

企業内の人間関係から休暇を取りにくいことはあるか。

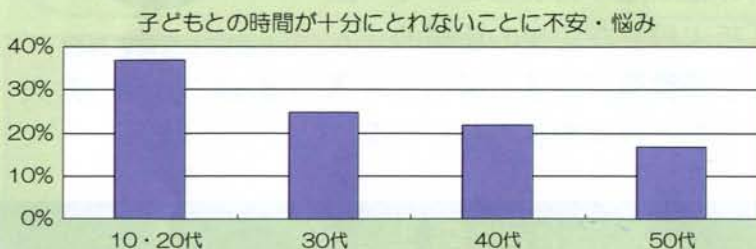


- 組織で働いているので当然そのようなことはある
- そのようなことはあるかもしれないが、認識していない
- そのようなことはない
- その他
- 無回答

休暇制度は整備されているが、職場の人間関係から休暇がとりにくい現状については、「組織で働いているので、当然そのようなことはある」と回答した企業が44%であった。

家庭教育に関するアンケートから

平成19年7月に幼・保・小中学校の保護者2,155名に行った調査



子どもとの時間が十分にとれないことに不安や悩みを感じている保護者が40代以下で20%以上いる。

企業のパワー

子どもが確かな学力や能力を身につけられるよう、企業の専門分野に参画しています。



従業員が気持ちよく働けるよう

企業にインタビュー

「資生堂 ソーシャルスタディーズデー 制度」



県統括営業部長 資生堂 関越支社 北関東支店 宇都宮オフィス
業務部長 阿部 和夫

市民は企業が参画した教育を求めている。

休暇制度は整っているが十分にとれない状況にある。

学校へ 心豊かでたくましい宮っ子をはぐくみます

豊かな心などを身に付け
専門性を生かして、学校の授

子どもの勤労観・職業観をはぐくむことができるよう、職場体験学習の機会を提供しています。

◆出前授業【城東小学校】

「東京電力 エネルギー出前授業」

企業の専門性を生かしながら、学校の教員と協力した授業を行います。

授業の進め方や教材など学校との打合せを十分に行って授業を展開します。



◆宮っ子チャレンジウィーク

【泉が丘中学校】

「ヨークベニマル 泉が丘店 職場体験」

宮っ子チャレンジウィークは市立中学校 2年生全員が、企業や地域の協力を得て5日間にわたって、多くの人々と触れ合い、社会体験活動を推進しています。

◆環境フェスタ2007【御幸小学校】

「富士重工業 環境体感ブース」

様々な学校行事や総合的な学習の時間においても企業の専門性は求められています。

企業の仕事に対する工夫や努力は、子どもたちにとっての生きた教材になります。



◆魅力ある学校づくり地域協議会

【晃宝小学校地域協議会】

学校、家庭、地域、企業が一体となって、学校教育の充実と家庭・地域の教育力向上のための活動を行い、「地域の学校づくり」を推進しています。

◆ガス調理台の寄附【岡本小学校】

「東京ガス ガス調理台の寄附」

市内33校にガス調理台の寄附していただき、家庭科や理科の授業等、学校教育活動において有効に活用しています。

写真は、6年生における家庭科の授業です。



◇宮っ子ステーション事業

【陽光宮っ子ステーション】

「ホンダ 環境わごん」

子どもたちが自然や環境保全の大切さ、工夫してものをつくる楽しみなどを体験しました。地域や企業の方の協力で子どもの放課後活動が充実します。

兼ねなく子育て休暇を取
うにしています。

企業人として、地域人として、学校や
地域の教育活動に協力しています。

Q ソーシャルスタディーズデー制度とは、
どんな制度ですか。

A 資生堂の社会貢献活動の基盤作りの一環として、社員が社会とのかかわりを通じて、自らを高める活動を行うことを積極的に支援する制度です。年間あらかじめ定められた日数を上限として、社員の社会活動のための活動日を業務扱いとして認める制度です。

Q 具体的には、どのような社会活動を行う
のですか。

A PTA活動や地域社会との交流活動、ボランティア活動、社会活動に役立つ資格・技術・知識の習得などがあります。



◆街の先生活動事業【今泉小学校】

・宇都宮市内の小・中学校で子どもたちが行く、さまざまな活動のお手伝いです。例えば、校外学習の引率やパソコンの操作など教育活動への支援があります。

本ページは、企業の皆様に御協力いただけるものを記載しました。詳細は、下記まで御連絡ください。

◆学校教育に関すること

○学校教育課 632-2729

◇生涯学習に関すること

○生涯学習課 632-2674

企業人づくり講演会 平成19年9月25日(火)
テーマ「企業の子育て支援—企業は発想の転換を—」
さわやか福祉財団の堀田力先生による講演会

●従業員が子育てできる環境を

世のお父さんは、子育てをしなければいけないと思いつつも、仕事に体も時間も心も取られ、ほとんど参加しないのが実情。
そのため、企業は、社員の育児休暇あるいは早期、定時退社を取れるような環境を作るべきである。



●子育て環境推進による企業メリット

子育て休暇を充実させると、社員がいなくなって大変だと思われるが、実際は、一人抜けてしまっても、共同で仕事をする事で事業の合理化が図られ、企業内に連帯感も生まれてくる。

●企業イメージの確立

企業や、子育て環境をはじめ、高齢者の支援、街づくりなど、一見企業利益につながらなくても、社会の役に立つことを行うことが大切である。すると、利益よりも社会に役立つことを第一にする大切にする企業というイメージをつくることができ、そのような企業に優秀な人が集まってくる。

●企業が子どもたちにできること

職場の開放は、大きな社会貢献である。職場を子どもに開放するのもいいし、地域や学校の子どもの職場体験を推進することも大切である。
企業が保育園、幼稚園、学校などを応援することは、一緒に子育てすることにつながる。

●企業として、企業人として

企業の子育て支援の取組を、企業活動として宣伝することが大切である。
従業員も経営者も、どんどん子育て支援などやボランティア活動を行って自分の人生広げていく。すると、いろいろなことを体験した人間として魅力が一段とアップし、付き合いの範囲も広がる。人生の幸せの範囲を広げてほしい。

教育委員会においては、「宮っこ未来ビジョン」をもとに、子育て応援出前講座を開催しています。

ここでは、「子どもとの上手なかかわり方」「少年期の人づくり」など、親学の内容を中心として行っており、企業の皆様からは「子どもの成長を理解してかかわることの大切さがわかった。」などの感想をいただいています。

随時、出前講座を受け付けておりますので、希望される企業の方は、下記まで御連絡ください。



南ロータリークラブでの出前講座

お問い合わせ	宇都宮市教育委員会 教育企画課
住所	〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5
電話	028-632-2706
電子メール	u4612@city.utsunomiya.tochigi.jp
ホームページアドレス	http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp